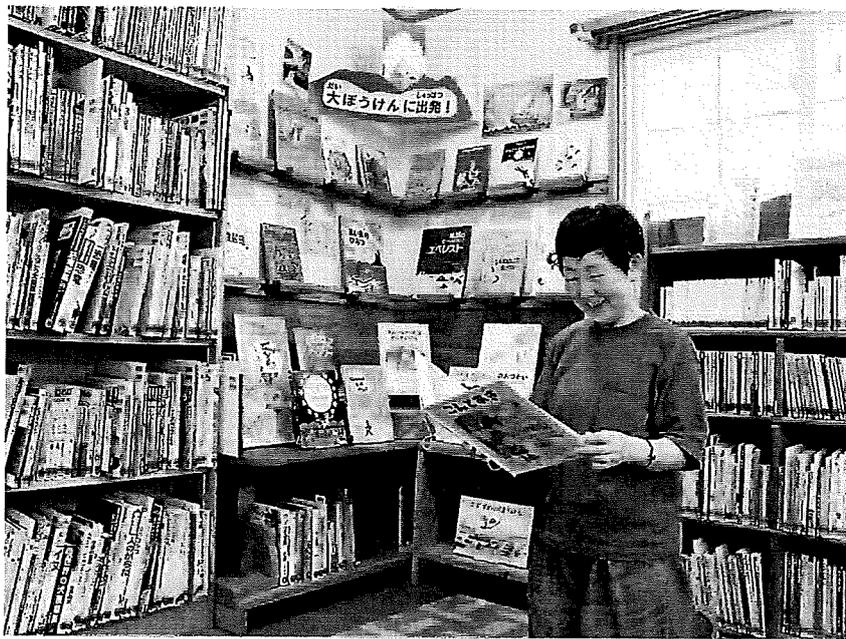


# 「子ども図書館」を助成

## 陸前高田 光と愛の事業団が35万円

「読売光と愛の事業団」(東京)が創設した被災者支援助成事業で、県内からは今年度、「陸前高田子ども図書館ちいさいおうち」が助成対象に選ばれた。「ちいさいおうち」は2011年11月、陸前高田市竹駒町の市有地に、トレーラーハウスを使って開館し



絵本が並ぶ本棚の前で「家庭的な雰囲気の図書館を構هていきたい」と話す高橋さん(22日、陸前高田市で)

た。東日本大震災の津波で図書館が流された同市で、子どもたちが安心して読書できる空間をつくらうと、盛岡市内のNPOの支援を受けてスタートした。17年7月に陸前高田市立図書館が再建されると、18年3月でNPOによる運営は終了。存続を望むスタッフや利用者が任意団体を作り、現在はボランティアスタッフ8人が活動を引き継いでいる。

開館当初から活動に携わっている高橋更苗代表(59)は「小さな図書館だからこそ、一人一人に寄り添うことができ、本好きの子どもを増やせた」と振り返り、「これからも本で子どもたちをわくわくさせたい」と話している。

助成金の35万円は、老朽化したトレーラーハウスの屋根の修繕や、新たな絵本67冊の購入費などに充てると予定だという。